

大津 エンパワ ねっと通信



〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内
大津エンパワねっとオフィス(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail:shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
【ホームページ】http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

TOPICS

10 年度 大学と地域をつなぐ特別講義 II

「大学と地域をつなぐ特別講義 II」とは…

大津市中央地区と瀬田東学区で地域の活動をされている方にお話を伺います。講師の先生は 2 回生後期からはじまる「地域エンパワねっと実習」などで、具体的な取り組みと一緒に進めていくことになる方々です。

「地域エンパワねっと実習 I・II」(2010 年後期・2011 年前期)の履修を希望する 2 年生は、「大学と地域をつなぐ特別講義 I」(2010 年度後期開講)と「大学と地域をつなぐ特別講義 II」(2011 年度前期開講)を履修する必要があります。(その他、対応科目※の履修も必要)

よくある質問

Q1. 「大学と地域をつなぐ特別講義 II」の対象学生は何年生ですか？

A1. 2 年生 (09 年度入学生) が対象です。

Q2. どの授業を履修すれば良いのですか？

A2. 今年度は「社会学概論(社会)」「ソーシャルワークの理論と方法 II [栗田] (地域・臨床)」「ソーシャルワークの理論と方法 I [山田] (地域・臨床)」「地域コミュニケーション論(CM)」の授業で実施します。実施日については大津エンパワねっと掲示板を認してください。

Q3. 「大学と地域をつなぐ特別講義 II」の講義日にどうしても授業を欠席しないといけないのですが・・・

A3. 「大学と地域をつなぐ特別講義 II」の講義日に限り他の学科の授業であっても受講が可能です。他の学科で開催される特別講義 II (まち歩き含む) を受講してください。

Q5. 大津エンパワねっと対応科目は何ですか？

A5. 履修要項の「大津エンパワねっとコース」および「龍谷大学まちづくりコーディネーター」についてのページを確認してください。

TOPICS

新推進委員メンバー紹介

早いもので、エンパワ 2 期生の実習 II が始まりました。また、年度初めということで、エンパワ推進委員も新しく協力していただく先生を迎えました。このコースを受講している学生さんの成長ぶりに負けないくらい、推進委員の先生方も気合が入っています。そんな新メンバーの先生方にコメントをいただきました。

田村 公江 (コミュニティマネジメント学科)

- ①臨床哲学、性の倫理学
- ②哲学の基本は「ことばの力を信じること」、倫理学の基本は「より善い関係を求めること」です。プロジェクトを通じて、これらのことを具体的に体験してください。そうすれば、大学での学びがさらに深くなります。
- ③地域の生活に触れることは、ずばり、人生勉強です。チャレンジしましょう。

土田 美世子 (地域福祉学科)

- ①児童福祉、児童福祉分野の専門性について
- ②熱意ある地域の「本物の大人」と出会える絶好のチャンスだと思います。
- ③「学生」というどこにでも顔を出せるパスポートを、最大限に活用してほしい。

- ①専門分野 ②大津エンパワねっととは
- ③エンパワに興味のある学生へ一言！

TOPICS

地域エンパワねっと実習 II にむけて

地域課題について

私が実習 I で得たものは

自分自身を振りかえって

現状把握
地域の方向と直接お話をしてみよう。現状を知ることができた。

つながり
世代の横のつながりを固めたい。縦のつながりを形成すること。そのために、多くの人が交流できる機会をつくるべきだと感じた。

対話
人と人が適度な距離を保ちながらも、対話をする必要性を強く感じました。

苦勞
地域活動というのは役員さん努力の上になりたっていると感じた。

気づき
まちに人を集めることがエンパワではない。地域の人にたのしんでもらうことが一番大事。

一方通行
自分だけで考え、こうした方がきっと良いだろうという想いをぶつけるだけではいけない、ということ学んだ。

積極性 UP
地域の方と関わることで、地域の方と関わることも、教わり学ぶことができました。

行動力
計画なしでは動けなかったが、以前に比べるととにかくまず行動するようになった。

出会い
インタビューによって新たな人と出会い、その人が「何を思っているのか」「地域社会をどのようにとらえているのか」もっと知りたいと思うようになった。

エンパワねっと実習への想い

実習 I を終え、地域ごと、そこで暮らす人々のこと、チームで動くということ…いろんなことが少しずつわかり始めたエンパワ学生たち。今の気持ちをキーワードで表しました。

共有
新住民と旧住民が地域の歴史など良いところを共有できる場所作りができれば…

地元愛
子どもたちに地元の伝統、歴史を知ってもらい、地元の好きになる、関心を持つイベントを実施したい。

再発見
地域の人も知らない地元の顔を発見したい。

仲介
地域で行われているイベントにエンパワに関係なく大学生を呼んで地域と大学生を結び役割をしたい。

きっかけ
人との「つながり」を形成するきっかけづくりをしていきたい。

伸
自分の気づき、思いを地域の方々と協力して形にしていきたい。

深入り
「実習 I」以上に地域の中に入り、もっと地域の人たちと交流を深めたい。

挑戦
一つ一つのことにと立ち止まって考え、新たな発想をもっていろいろなことに挑戦していきたいと思う。

地域課題について

私が実習 II で取り組みたいことは

自分自身について



実習 II 第 1 回授業の様子



スケジュール・お知らせ



- 17 日：大津エンパワねっとを進める会・瀬田東
- 19 日：学内エンパワねっと推進会議
- 27 日：第 1 回大学と地域をつなぐ特別講義 II
- 28 日：大津エンパワねっとを進める会・中央

<事務局より>

大津エンパワねっとも 4 年目に入りました。文科省の助成としての取り組みは昨年度で終了し、大学の事業として引き続き活動をいたします。今まで以上にこの取り組みがパワーアップしていけるよう、事務局としてバックアップしてまいります。

また、4 月からエンパワねっと 2 期生の実習 II が始まりました。実習 I で経験したことをどのように発展させて活動していくのか、これから楽しみです。